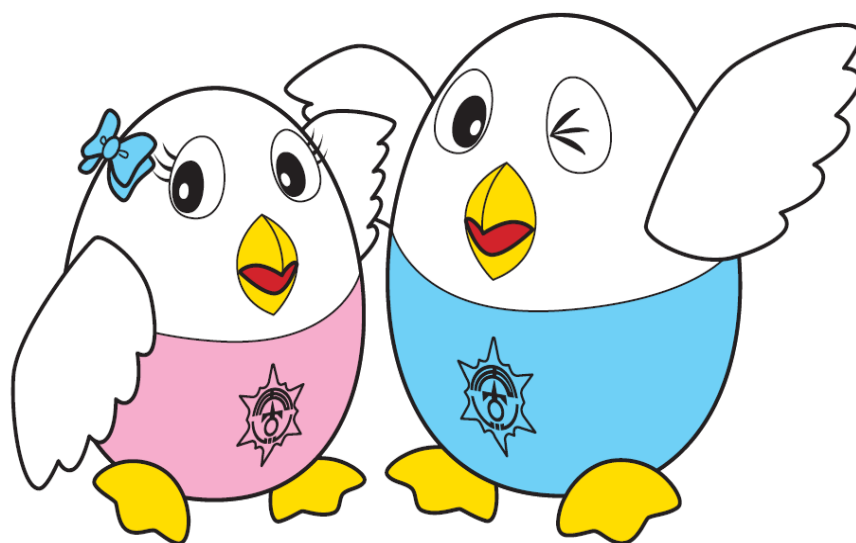


令和6年度

第2回 学校保健委員会

〔古河五小 公認キャラクター〕



ごしょりん ごしょ丸

式次第

1. 開会の言葉
2. 出席者自己紹介
3. 学校長あいさつ
4. PTA 会長あいさつ
5. 本校の現状
6. 質疑応答
7. 学校医からの講話
8. 謝辞
9. 閉会の言葉

令和7年2月19日（水）14：15～

古河市立古河第五小学校

古河第五小学校保健委員会会則

第一章 名称

第1条 本会は古河市立古河第五小学校保健委員会と称する。(以下委員会という)

第2条 委員会の事務局は古河市立古河第五小学校内に置く。

第二章 目的

第3条 委員会は、学校保健・安全に関する諸問題について、各専門分野の立場から分析に、検討・協議することにより、保健・安全の環境を整備し、学校保健の充実向上を図ることを目的とする。

第三章 事業

第4条 委員会は、前条の目的を達成するために下記の事業を行う。

- 1 学校保健・安全計画の審議と実施
- 2 保健衛生に関する調査・分析
- 3 児童活動における保健委員会の助成
- 4 その他、委員会の目的達成のために必要な事項

第四章 構成

第5条

1 委員会は下記の者をもって構成する。

- ・学校関係—校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、保健主事、養護教諭、給食主任、体育主任、安全主任
- ・校医関係—学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- ・PTA関係—会長、副会長、会計、書記
- ・関係機関—市教育委員会、健康推進課

2 必要に応じて下記の者を加えることができる。

- ・PTA関係—PTA 学年委員長・顧問
- ・地区代表—交通安全・補導関係の代表、通学区内町内会の代表
- ・市関係者—民生委員会
- ・児童代表—保健委員会、その他

第五章 役員

第6条 委員会に下記の役員を置く。

委員長—1名(学校長)

副委員長—2名(PTA 会長・教頭)

幹事—2名(PTA 副会長・教務主任)

第7条 役員は委員会において選出する。

第8条 役員の任期は1年とする。

第六章 会議

第9条 委員会は毎学期1回開催する。ただし、小委員会をもって兼ねることができる。委員会は委員長が必要と認めた場合には、臨時に開くことができる。

第10条 役員ならびに学校職員をもって小委員会を組織することができる。

令和6年度 古河第五小 体力テスト県平均値と本校との比較

		総得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャット	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	得点合計
男子	小学1年	県平均	8.88	12.84	26.85	27.22	20.49	11.68	114.96	8.18	31.20
		本校	11.00	8.20	29.20	27.20	15.40	11.16	122.60	8.00	31.20
		比較	○	●	○		●	○	○	●	
	小学2年	県平均	10.52	15.37	28.90	31.18	29.46	10.83	125.42	11.25	38.07
		本校	12.57	18.14	36.14	39.29	38.57	10.63	140.57	11.29	46.43
		比較	○	○↑	○	○	○	○	○		↑
	小学3年	県平均	12.34	17.92	31.38	35.05	37.21	10.19	135.54	14.53	44.36
		本校	13.92	14.58	30.00	38.58	41.67	10.14	130.75	15.67	44.67
		比較	○	●	●↓	○	○		↓	●↓	○↑
	小学4年	県平均	14.31	19.45	33.76	39.03	44.08	9.76	144.92	17.67	49.92
		本校	15.71	16.14	35.43	36.57	36.71	9.77	144.29	17.86	47.00
		比較	○↑	●	○	●	●↓		↓	●↓	○↑
	小学5年	県平均	16.64	20.62	36.40	42.29	49.72	9.38	153.39	20.77	54.84
		本校	19.17	20.00	41.83	44.08	43.92	10.11	152.25	18.75	54.83
		比較	○	●	○	○	●	●	●	●	
	小学6年	県平均	19.86	22.43	39.17	45.10	56.66	8.95	164.49	23.89	60.52
		本校	18.36	23.45	33.36	45.18	47.60	9.16	149.45	17.36	55.10
		比較	●↓	○↑	●↓		↑	●	●	●	●
女子	小学1年	県平均	8.37	12.17	29.10	26.32	17.05	11.97	107.86	5.80	31.44
		本校	9.50	14.00	28.00	25.83	14.92	12.36	117.67	5.33	31.75
		比較	○	○	●	●	●	●	○	●	○
	小学2年	県平均	9.98	14.69	31.54	30.20	23.44	11.09	117.78	7.65	38.69
		本校	12.83	14.33	36.67	34.17	24.83	11.53	126.67	5.67	42.00
		比較	○	●	○	○↑	○↑	●	○↑	●	○↑
	小学3年	県平均	11.68	17.11	34.83	33.50	29.09	10.51	127.40	9.78	45.26
		本校	12.36	15.93	33.64	37.57	35.14	10.51	125.43	9.21	46.71
		比較	○	●↓	●	○	○		↑	●↓	●
	小学4年	県平均	13.72	18.75	37.66	37.56	35.71	10.02	136.85	11.92	51.55
		本校	14.86	15.14	44.00	37.43	33.71	9.90	145.57	11.00	52.00
		比較	○↑	●↓	○	●	●	○	○	●	○↑
	小学5年	県平均	16.30	19.71	40.78	40.56	41.32	9.59	146.48	13.95	57.03
		本校	20.80	20.90	41.70	42.30	38.50	9.21	151.70	12.70	59.70
		比較	○	○	○	○	●	○↑	○	●	○
	小学6年	県平均	19.52	20.97	43.67	42.76	45.72	9.23	154.15	15.86	61.94
		本校	20.50	22.00	43.50	46.75	44.92	9.18	154.92	14.00	63.67
		比較	○	○↑		↓	○	●		↓	↑

(○：県平均を上回る ●：県平均を下回る ↑：昨年度の記録より上回る ↓：昨年度の記録より下回る)

<分析>

○よい点

- ・1・2・3年生男子の記録が、県平均を上回っている種目が多い。
- ・全学年女子の「得点合計」が県平均を上回っている。
- ・「握力」、「長座体前屈」の記録が、県平均を上回っている学級が多い。

○課題点

- ・男子の「上体起こし」「立ち幅跳び」の記録が、県平均を下回っている。
- ・女子の「ボールスロー」、「20mシャトルラン」の記録が、県平均を下回っている。

令和5年度と令和6年度の級別の比較

令和5年度

		実施人数	A	B	C	D	E
男子	小学1年						
	小学2年	6	3		3		
	小学3年	12	3	1	5	3	
	小学4年	7	1	1	1	4	
	小学5年	12	2	2	6		2
	小学6年	11	1	4	3	1	2
女子	小学1年						
	小学2年	6		1	3	1	1
	小学3年	14	5	2	4	2	1
	小学4年	7	2	1	3	1	
	小学5年	10	2	5	3		
	小学6年	15	6	2	5	2	

令和6年度

		実施人数	A	B	C	D	E
男子	小学1年	5		2	1	2	
	小学2年	7	5		2		
	小学3年	12	3	3	2	2	2
	小学4年	7	1	2	1	2	1
	小学5年	12	3	1	4	3	1
	小学6年	10		3	2	3	2
女子	小学1年	12	3	4	2		3
	小学2年	6	2	1	2	1	
	小学3年	14	5	2	4	2	1
	小学4年	7	2	2	2		1
	小学5年	10	1	4	5		
	小学6年	12	2	4	5	1	

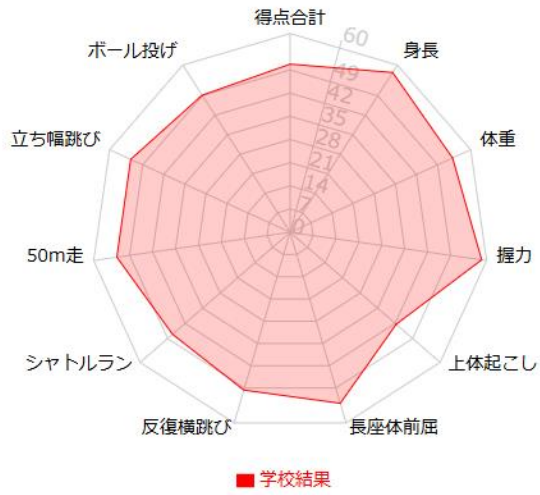
<分析>

○問題点

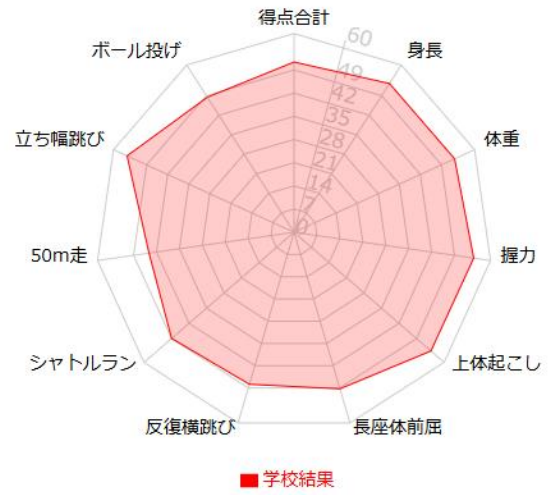
- ・ D・Eの児童の割合が増えている。

1 < Tスコアによる全国平均値との比較 >

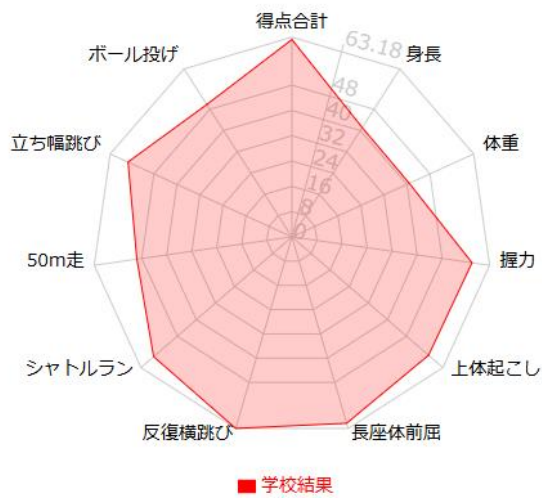
1 1年生 男子



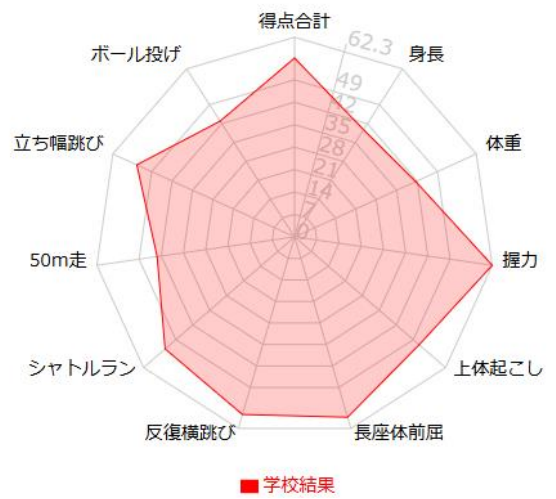
女子



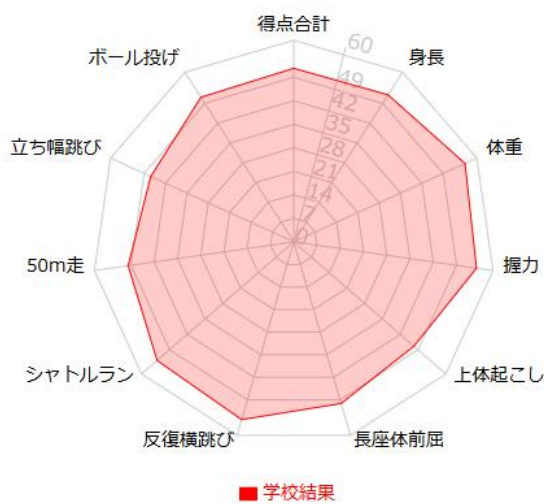
2 2年生 男子



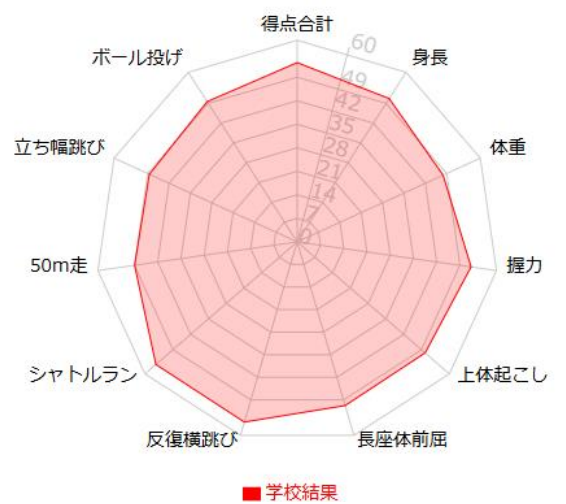
女子



3 3年生 男子



女子



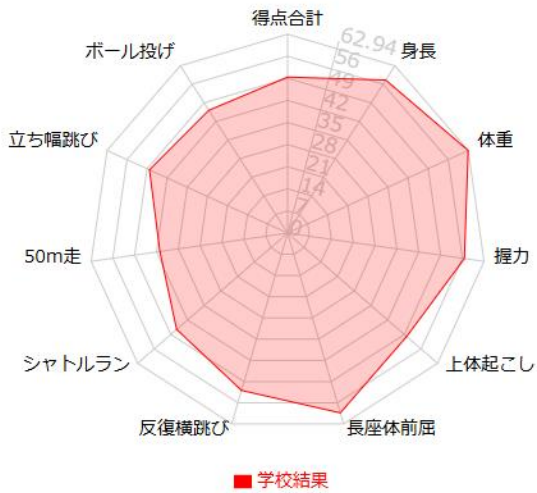
4⁴ 4年生 男子



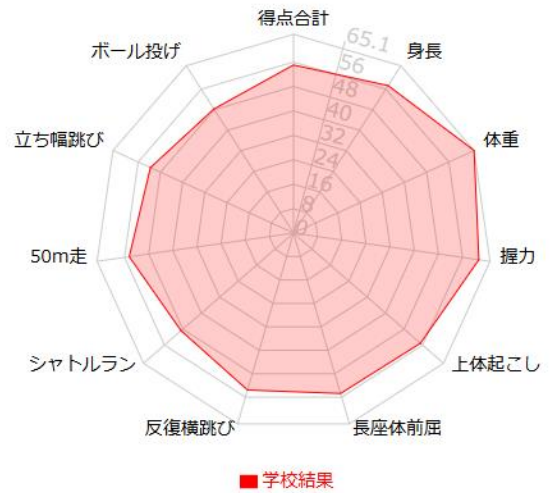
女子



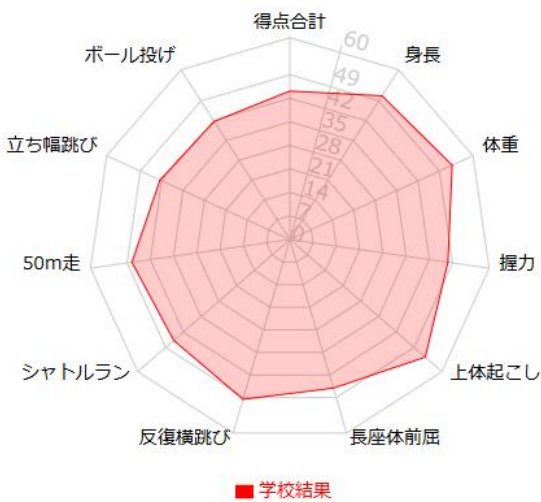
5⁴ 5年生 男子



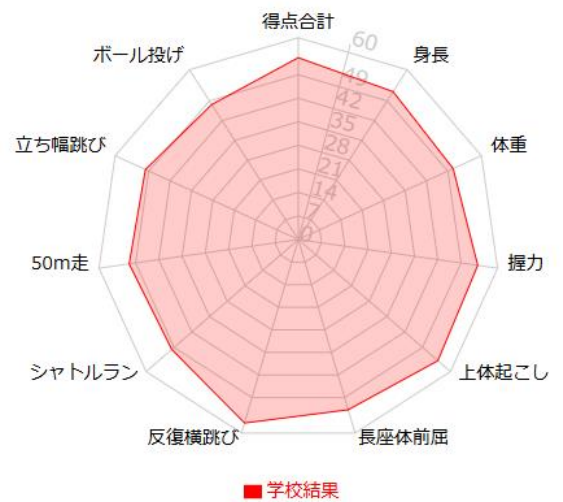
女子



6⁴ 6年生 男子

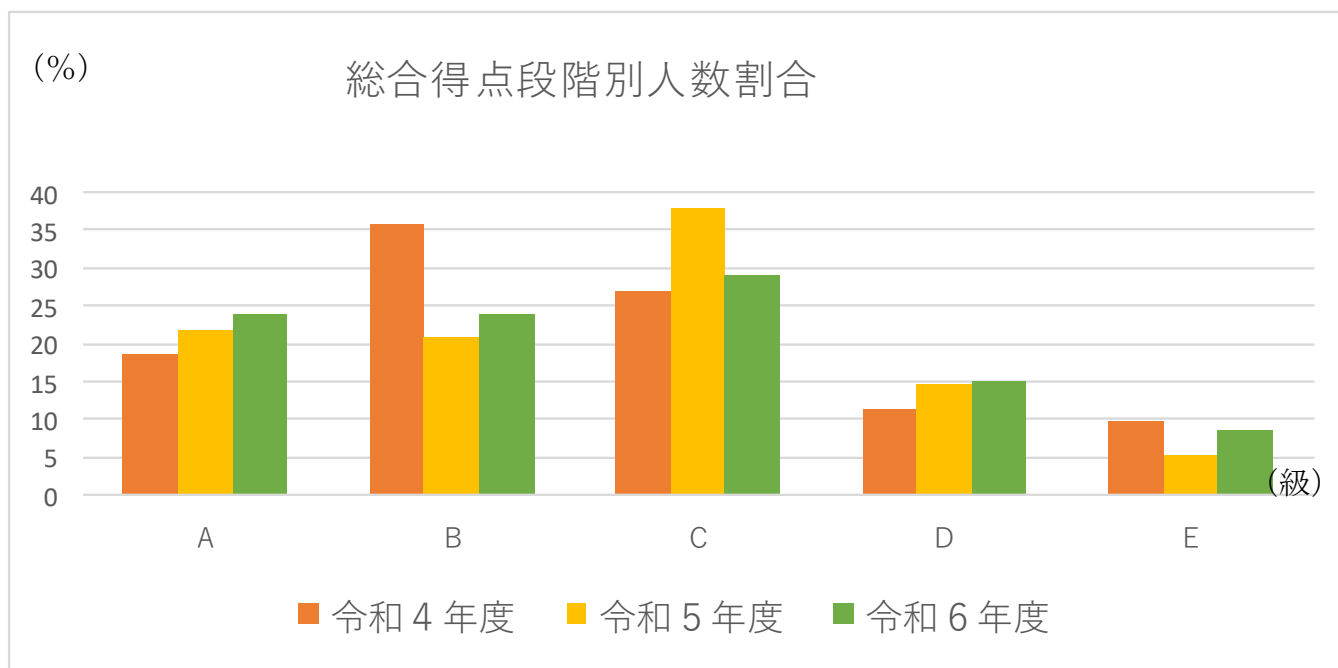


女子



Tスコアは**偏差値**のことで、集団の平均からどの程度ずれているかを示す数値である。体力テストの場合、種目によって単位や数値の幅などが異なるため、同じものさし（尺度）で比較することは難しい。そのような場合、**全体の平均値を50**、標準偏差が10になるように修正し、数値化することで比較しやすくなる。

<総合得点段階別人数割合>



	A	B	C	D	E
令和4年度	18.7%	35.8%	26.8%	11.4%	9.8%
令和5年度	21.6%	20.7%	37.9%	14.7%	5.2%
令和6年度	23.7%	23.7%	28.9%	15.0%	8.7%

【総合得点段階別人数割合の考察】

- ・ A + Bの割合が増えている。
- ・ D + Eの割合も増えている。

【本校の体育科の課題と対応策について】

(1) 基礎体力の向上策について

全学年に共通する課題は、「ボール投げ」(投力)、「20mシャトルラン」(持久力)があげられる。しかし、男子の中学年に改善の兆しが見られ、昨年度記録を上回る結果となっている。継続的な取り組みや、体力テスト前の投げ方の指導の成果が現れた。今後とも継続して指導していくとともに、年間を通じた場の設定や遊びを通じた投げる機会を増やす工夫をしていきたい。持久力に関しては、普段の体育の時間の運動だけでは大きな成果は期待できない。今年度から、ロング昼休みを週1日から2日に増やした。積極的に外遊びを呼びかけ、クラス全体で遊ぶ企画を進めるなど、児童の運動量を確保していく。

(2) 体力テスト総合評価D及びEの児童に対する体力向上策について

今年度の結果は、総合評価のCの児童がA・Bへ伸びた児童もいれば、D・Eへ落ちた児童もいる。特に総合評価D・Eの児童の割合が増加傾向にある。昨年度は「動きの習得につながる遊びの中で、楽しく取り組めるようにする」をテーマに体育学習を進め成果を上げることができた。しかし、今年度は、十分な成果を上げることができなかった。そこで今後は、自分で目標を設定し、その目標達成に向けた活動の場の工夫や、活動の機会をより多く確保することで、運動量を増やし基礎動作の習得や体力の向上につなげていきたい。場の工夫や運動量を確保することで、個に応じて課題を解決し、できた喜びを味わえるように結びつけていきたい。これらを通して、どの児童も運動に対して「楽しい」と思える環境を整え、児童が日常的に運動に取り組みたいと思えるよう努力していきたい。

令和6年度 体育学習の取組①

【持久力向上に向けて】

目標やめあてを
持つことができるように

○ 持久力アップ月間 (10/28～11/27)

(1) 周回数を増やす練習

- 低・中・高学年ごとにコースを分けて8分間走り、回数数を増やしていく。
(1日あたり、10周前後の距離を走る。)

(2) タイムを意識する練習

- 低学年コース 7.5周 (1・2年生：約130m)
中学年コース 9周 (3・4年生：約150m)
高学年コース 10.5周 (5・6年生：約170m) } タイムを意識して8分間走る。

(3) 持久走大会 (11/29)

- 渡良瀬川沿いのサイクリングロードにて実施

持久力

基礎体力

運動意欲

○ なわとび月間 (1/14～1/30)

(1) 個人で短縄跳びの練習 (行間)

(2) 学級で八の字跳びの練習 (昼休み)

<持久力アップ月間>



～ 持久走大会から ～

<なわとび月間>



～ なわとび集会から ～

令和6年度 体育学習の取組②

【運動意欲の向上】

○ 持久走大会 (11/29)

- ・ 渡良瀬川沿いのサイクリングロードにて実施する。
- ・ 低学年は1000m、中学年は1400m、高学年は1800m走る。
- ・ 全児童に記録賞を授与する。また、各ブロックの上位8名を表彰する。
- ・ 昨年の記録をもとに、目標を持たせ取り組ませる。

持久力アップ月間 (10/28～11/27)

- 全職員が児童と共にランニング
- ・ 特定周を走ると、先生方とハイタッチ
- ・ 「日本一周がんばりカード」、「昨年度までの最高記録一覧」の掲示による意識の高揚



14日(木)！持久走大会の試走！！

2・4・6年生は、去年の自分の記録更新を目指して。また、1・3・5年生は、新たな自分の目標に向かってチャレンジしてみてください。

※ 今年の目標 (記録) を記して、試走に励もう！！

学年	男子	女子	男子	女子
1年生	3分 5.0秒	4分 5.0秒	5分 5.0秒	6分 5.0秒
2年生	3分 5.0秒	4分 5.0秒	5分 5.0秒	6分 5.0秒
3年生	3分 5.0秒	4分 5.0秒	5分 5.0秒	6分 5.0秒
4年生	3分 5.0秒	4分 5.0秒	5分 5.0秒	6分 5.0秒
5年生	3分 5.0秒	4分 5.0秒	5分 5.0秒	6分 5.0秒
6年生	3分 5.0秒	4分 5.0秒	5分 5.0秒	6分 5.0秒



○ なわとび集会 (1/31)

- ・ 「個人種目」古河市なわとび大会のルールを参考に実施する。
- ・ 1・2年生：前跳び、後ろ跳び 3～6年生：後ろ跳び、二重跳び
- ・ それぞれ30秒間で跳んだ記録の合計によって、記録賞や上位賞を授与する。
- ・ 上記の個人跳びの平均記録を算出し、全クラスに記録賞を授与する。
- ・ 「団体種目」連続八の字跳びは、5分間の記録を授与する。
- ・ 各クラスの記録に賞状を授与する。



○ なわとび月間 (1/14～1/30)

- ・ 「五小チャレンジなわとびカード」の活用 (階級制)
- ・ 週3回 (行間休み) 全校児童による活動 (八の字跳びは、昼休み体育館を開放し練習)
- ・ 前年度の自分の記録をもとに、目標を持たせ取り組む。

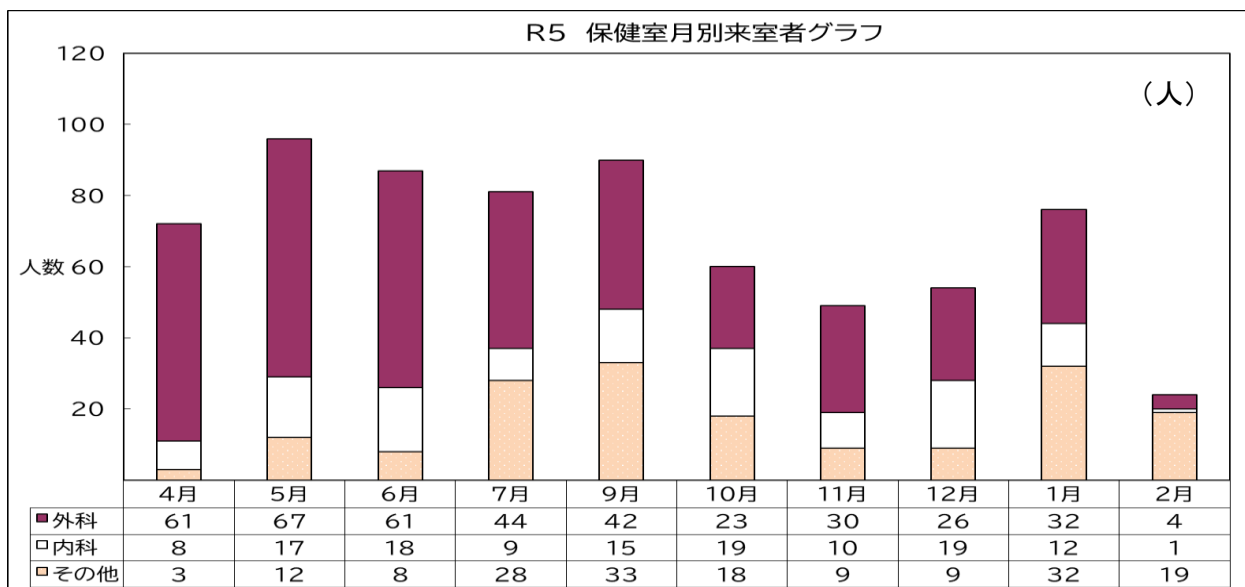
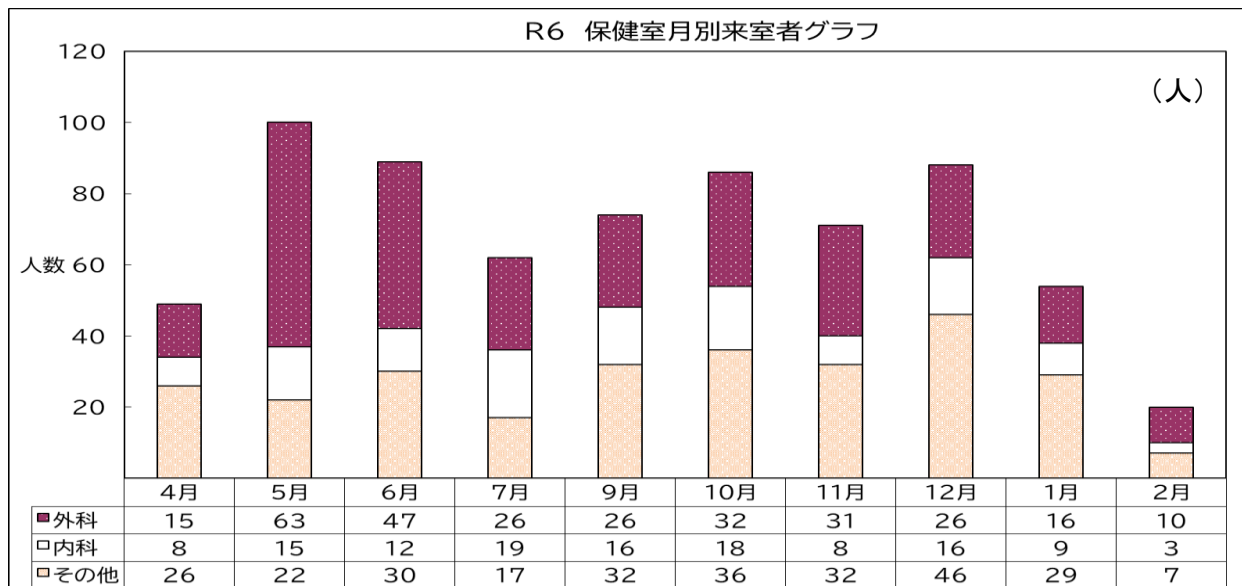
「スポーツチャレンジ」への参加

(県教育委員会主催の種目別ランキング)

- 種目：連続八の字跳び、二重跳び、前跳び にチャレンジ
- ・ 種目ごとのルールにのっとり、県内の同学年のクラス・グループと競う。
- ・ 結果を昇降口前に掲示する。
- ・ 記録賞を授与する。



○保健室来室状況（令和6年4月～令和7年2月）

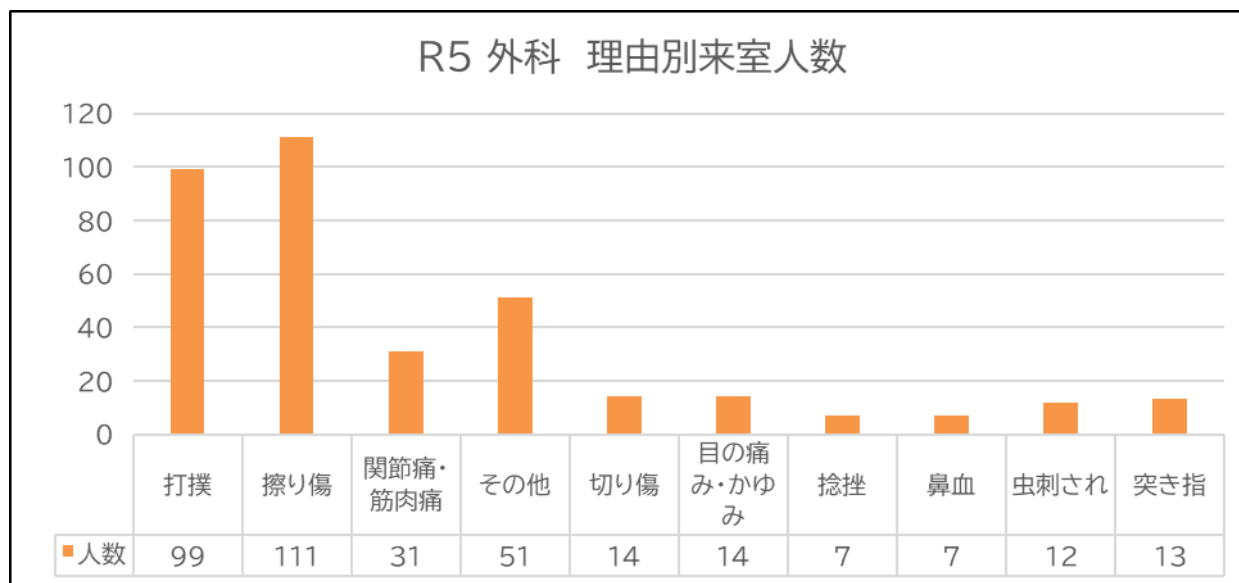
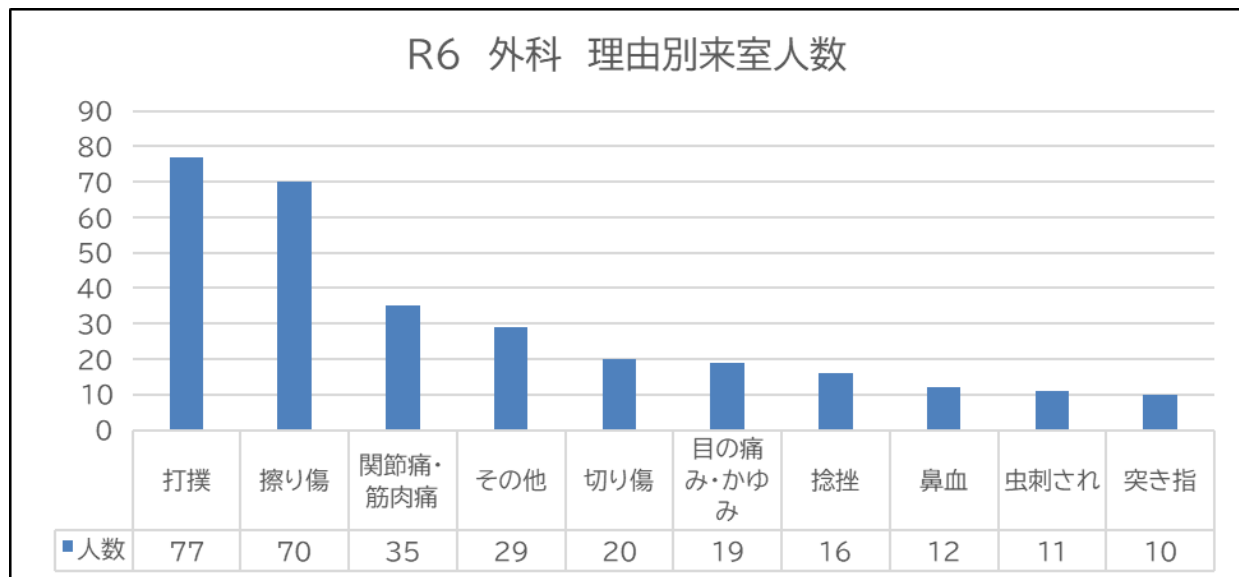


【考察】

令和6年度の総来室者数は693人で、昨年度と同時期の総来室者数は689人であり、昨年度と変わらない人数であった。外科・内科は令和5年度の来室者が多く見られたが、その他は令和6年度の来室が多かった。

7月～9月は熱中症の予防のため、熱中症指数によって外遊びを規制していたため、外科による来室が減少する傾向がある。また、季節の変わり目には内科による来室が増加する傾向がある。保健室では、児童とともになぜ具合が悪くなったのか、なぜけがをしたのかを考え、どうすればよくなるか等、改善方法を一緒に考えている。

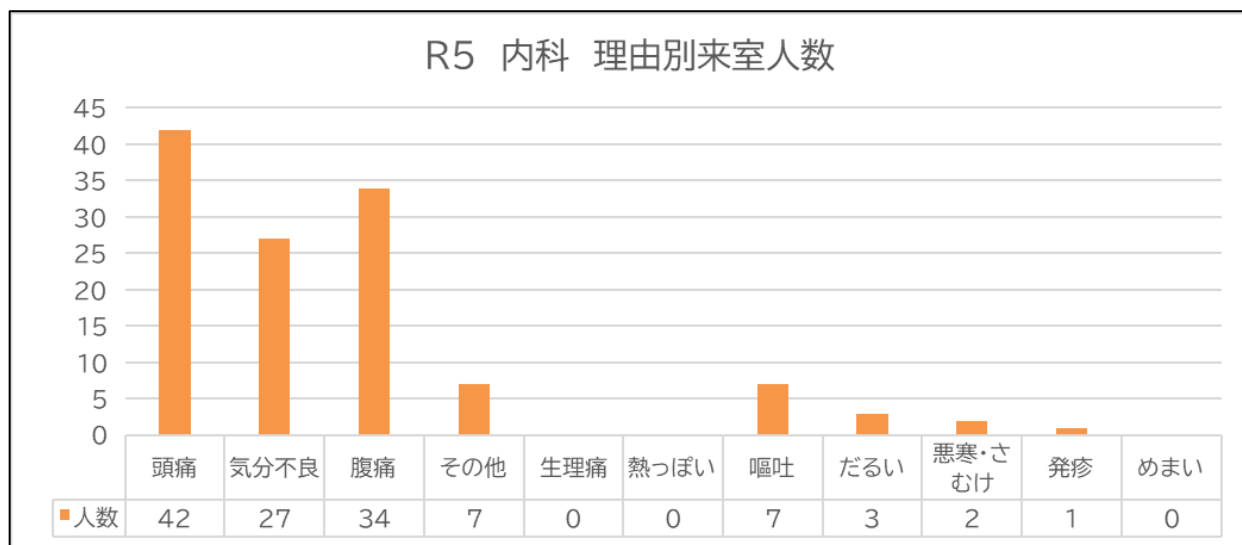
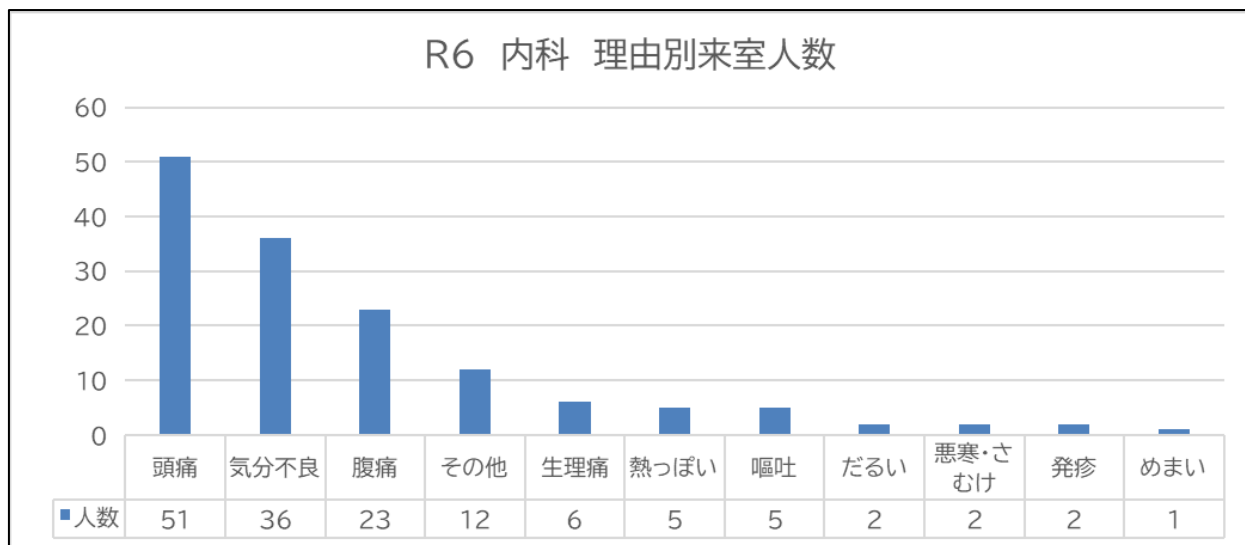
【外科】



【考察】

令和6年度は令和5年度とは異なり、打撲による来室が最も多かった。打撲・擦り傷ともに昨年度と比較して来室者が減少しているが、捻挫・切り傷による来室が増加している。防ぐことのできるけがに注意しようとする意識を持ちながら生活できる力を育むことのできるよう指導を行っていく。

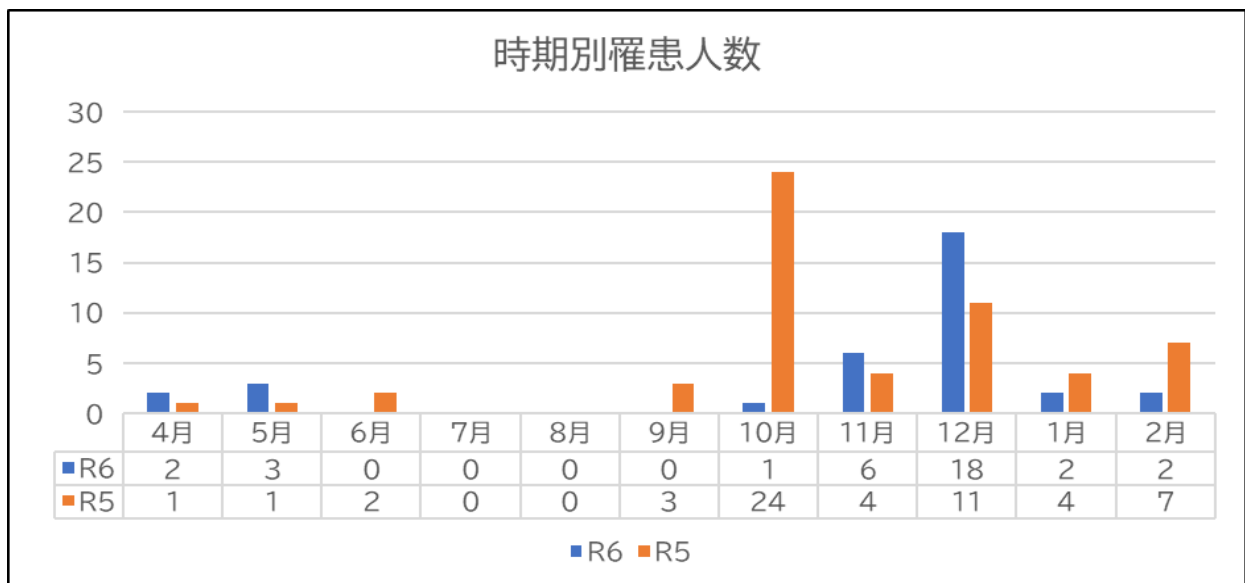
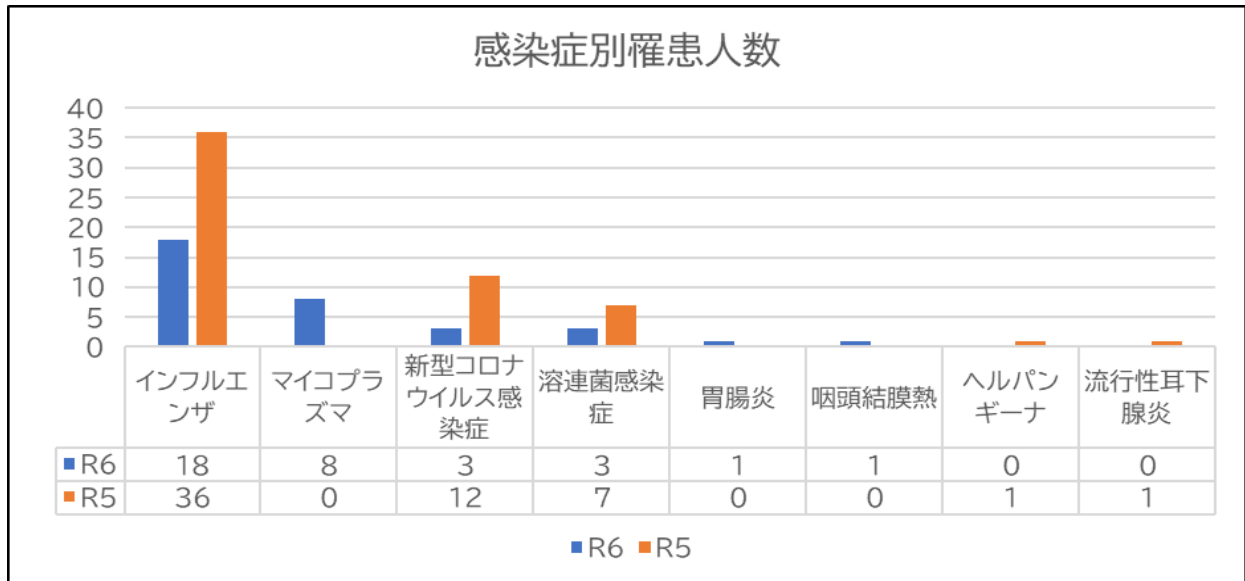
【内科】



【考察】

令和6年度は令和5年度と同様に頭痛による来室が多かった。様々な要因は考えられるが、Iデジタル機器関連によるものが関係していると考えられる。適切な使い方の指導を家庭と協力しながら行っていく。また、なんとなく体調が悪いや言葉に表すことのできない不快感などを訴える気分不良による来室が多く見られた。自分の体のどこに違和感や不快感があるのかを言葉で伝えることができるよう指導を行っていく。

○感染症罹患率（令和5年度との比較）



【考察】

昨年度と比較して、感染症罹患人数が減少した。疾患別の人数ではインフルエンザは昨年度の50%、マイコプラズマ感染症は42.8%、新型コロナウイルス感染症は25%減少した。時期別では、ほぼすべての時期で昨年度よりも少ない人数であった。

だが、昨年は見られなかったマイコプラズマ感染症が続いて罹患したり、12月の罹患者が昨年度と比較して多く見られたりした。

今後も家庭と連携しながら基本的な感染症対策への呼びかけを行い、児童が自分の健康に目を向けることができるよう指導を行っていく。

○保健指導

- ・ 1年生「はみがきマスターになろう」
むし歯の原因を知り、歯みがきのしかたを確認する。

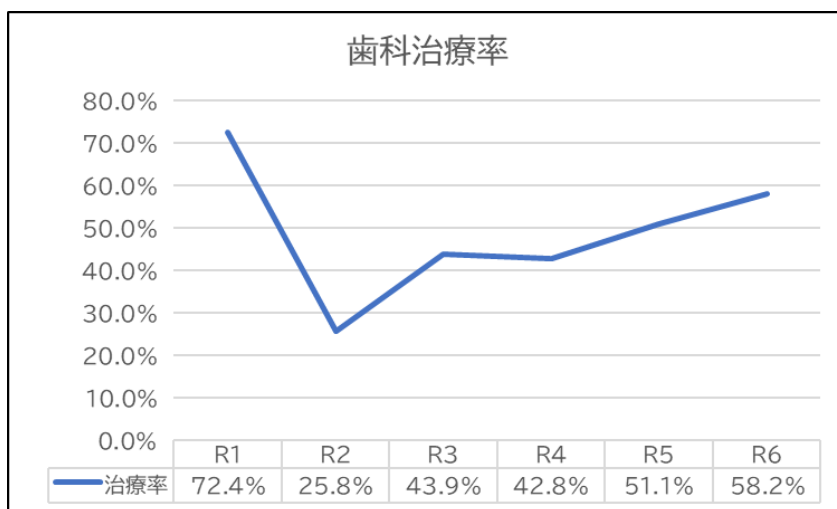


- ・ 4年生女子「おとなに向けて」、5年・6年女子「宿泊学習・修学旅行に向けて」
月経について復習をして、生理用ナプキンの付け方を確認する。
生理用ナプキンを配付し、いつ月経が来ても良いように備えをする。

○今後の課題と目標

①感染症の予防について

- ・朝だけではなく、授業中や給食の残食状況等 1 日を通して児童の変化に気づき、こまめな健康観察を行っていく。
- ・茨城県や近隣市町村の感染状況を常に把握し、基本的な感染症対策をするよう保健指導等を行い呼びかけていく。



②歯科治療率の低下について

歯科治療率：令和元年度は72.4%であったがコロナ渦をきっかけに大幅に低下した。徐々に治療率は増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で病院に行くことを控えていることもあると考える。



- ・むし歯を放置せず、早い段階で治療を受けることができるように治療を呼びかける。
- ・歯の保健指導や給食後の歯みがきの時間に繰り返し指導、支援をし、歯の健康に関する意識を高めていく必要がある。
- ・家庭との連携を密にしながら、むし歯の予防や治療に協力していただく必要がある。

③保健全体として今後の課題

- ・保健室来室時に、生活習慣やけがをする前の状況を振り返り、原因と改善するための方法を児童と一緒に考える。
 - 問診から見える病気の流行やけがの頻発的な発生場所等を確認し、感染症予防の取り組みを強化したり、けがの予防や遊び方の確認を行ったりする。
- ・児童が自分自身の健康に目を向けることができるように授業や掲示物を工夫して健康教育に力を入れる。
- ・全教職員で児童の健康観察を行い、多くの目と心で児童の心身の健康や安全を守る。

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	古河市立古河第五小学校
取組の名称	食育月間以外の月の取り組みについて
実施時期	毎日
取組内容に該当する食育ピクトグラム（複数選択可）	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> </div>
取組内容	<p>【放送による「ひとくちメモ」の実施】</p>  <p>給食の時間に、給食委員会の児童が、毎月給食センターから届く「ひとくちメモ」を放送しています。その日の給食に入っている食材の特徴や含まれている栄養素、産地など読み上げています。また、行事食や郷土料理の放送もしています。</p> <p>【給食コーナー「茨城県産の食材掲示」】</p>  <p>全校児童が通る校舎2階の踊り場の給食コーナーに、献立に掲載されている茨城県産の食材に合わせた食材を掲示しています。毎日食べている給食に、地元の食材が使われていることを知るきっかけになっています。</p> <p>【給食委員の児童による「給食イズ」】</p>  <p>6年生の給食委員がクローズドブックでクイズを作り、全学年のテレビへキャストし、その日の給食に入っている食材や料理に関するクイズを映し出しています。食材の歴史や料理の名前の由来、料理の発祥の国についてのクイズなど、さまざまな内容に触れ、楽しみながら食について知ることができています。</p>

【様式3】

③食育の日の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県	
取組市町村名 取組団体・企業名	古河市立古河第五小学校	
取組の名称	食育の日の取り組み	
実施時期	毎月19日	
取組に該当する食育ピクトグラム（複数選択可）	 <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	
取組内容	<p>【給食コーナー「旬の食材掲示」】</p>  <p>「食育の日」にあわせて、全校児童が通る校舎2階の踊り場の給食コーナーに、季節ごとの旬の食材を掲示しました。季節をまたいでいる食材もありました。子どもたちが食材の「旬」を意識する助けになっていました。</p>	<p>【給食コーナー「おすすめ食材紹介」】</p>  <p>給食委員会の児童が中心となり、イラストと文章で、給食のポイント食材の解説をまとめ、給食コーナーで紹介しました。冬至などの季節の行事と食の関わりをまとめている児童もいました。</p>
	<p>【放送による「食育イズ」の実施】</p> <p>給食委員会の児童が毎日実施しているひとくちメモの放送の際に、毎月19日は「食育イズ」を実施しています。その日の給食の食材や季節の行事に関するクイズを読み上げ、各クラスで聞いている児童が答えることで、楽しみながら食に興味や関心をもつことができていました。</p>	

学校給食での食育の取組

古河市立古河第五小学校

給食部

1 本校給食における現状

本校では、給食での児童の好みや偏食等の食生活の乱れや食のマナーなどの課題は見られるが、全体的な傾向としては、様々な取り組みを通して、食を意識する様子が見られるようになった。「健康と食生活の意識」は、健全な食生活につながるといわれている。今後も「食」に関する正しい知識や関心を深め、望ましい食習慣を身につけることができるよう、全児童にその意識が育つような取組を実践していきたい。

2 本校給食教育の目標

◎食に関する指導目標

食事の重要性	食事の重要性、食事の喜び,楽しさを理解する。
心身の健康	心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。
食品を選択する能力	正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性について自ら判断できる能力を身につける。
感謝の心	食べ物を大切にし、食べ物の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。
社会性	食生活のマナーや食事を通じた人間関係を形成する能力を身につける。
食文化	各地域の産物、食文化や食に関わる歴史などを理解し、尊重する心をもつ。

3 本校食育指導の取組

(1) 給食委員会児童による取組

- ・ 6月食育月間での「食事のマナーについて」発表
- ・ 「おすすめ食材」の紹介ポスター作りと掲示
- ・ 給食献立と栄養のポイント等の紹介、食材に関する豆知識等の放送
- ・ その日の献立に含まれる食材についての「給食イズ」の実施

(2) 給食コーナー（A棟1・2階）での掲示

- ・ 「旬の食材」「茨城県産の食材」「正しい身じたく」の掲示

(3) 古河市栄養教諭による食育指導

- ・ 1年生（9月実施）：「給食は楽しいな」
- ・ 3年生（11月実施）「好き嫌いしないで食べよう」

(4) 授業での食育指導（企業による出前授業）

- ・ 5年生（10月実施）：味の素(株)「味の素出汁の出前教室」にて
- ・ 4・6年生（2月実施）カルビー(株)出前授業にて



味の素出汁の出前授業（5年生）



古河市学校栄養教諭による食育指導（1、3年生）



給食委員会児童による「給食イズ」



掲示「茨城県産の食材」



掲示「旬の食材」



食育月間「食事マナーについて」



掲示「おすすめ食材」



給食委員会児童による「給食ひとくちメモ」の放送

4 給食指導の中で気になること

- ・食べ物好き嫌いや偏食、見て馴染みのない食材を避けるなどが見受けられる。
- ・食事のマナー（身支度・食事時の会話・箸の使い方・器の持ち方・姿勢）が守られていない。
- ・魚料理（焼き魚・煮魚）や海藻類、野菜（小皿）の残食が多い。
- ・残飯や食器の片付け方、給食白衣、配膳台等の扱い方が雑である。

5 これからの課題

- ・食事全般に関してのマナーを身につける。（身支度・食事時のマナー）
- ・安全や衛生（白衣の着衣・手洗い・うがい・消毒・マスク）に留意した食事の準備や片付けができるようにする。
- ・栄養バランスと食べ物のはたらき、食材など、食についての関心を高める。
- ・感染症対策を意識した給食の準備、配膳、食事、後片付けを徹底する。（通年）

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県	
取組市町村名 取組団体・企業名	古河市	
取組の名称	(1) 給食委員会の児童による食事マナーについての読み聞かせの実施 (2) 「給食おすすめ食材紹介」による食材の紹介 (3) 給食放送で食材に関するクイズ「食育イズ」の実施	
実施時期	6月3日(月)～6月28日(金)	
取組内容に該当する食育ピクトグラム(複数選択可)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> </div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> </div> </div>	
取組内容	<p>(1) 給食委員会の児童による食事のマナーについての読み聞かせの実施</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>各教室をオンラインでつなぎ、「食事のマナー」についての本の読み聞かせを行った。配膳の仕方などや、給食中に気を付けて欲しいマナーについて呼びかけた。(給食委員会)</p> </div> </div> <p>(2) 「給食おすすめ食材紹介」によるポイント食材の掲示</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>全校児童が通る階段(踊り場)に、食材の栄養素や産地などを書いた「給食おすすめ食材紹介」を掲示した。給食委員会の児童がイラストや、何のメニューに入っているかなどをかきながら、みんなに知って貰えるよう工夫した。(給食委員会)</p> </div> </div> <p>(3) 給食放送で食材に関するクイズ「食育イズ」の実施</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>食材や料理にもっと興味・関心をもってもらうため、毎日行っている給食放送の際に、6月は食材や食育に関するクイズ「食育イズ」を出題した。教室で聞いている児童は、給食を食べながらクイズに参加していた。「そうなんだ～!」という反応や楽しみにしているという声も聞かれた。(給食委員会)</p> </div> </div>	